

R&S ESW/ESR/ESRP

トラッキングジェネレータと 外部ジェネレータ・コントロール方法

ローデ・シュワルツ・ジャパン株式会社



ROHDE & SCHWARZ

トラッキング・ジェネレータ操作時の流れ

- 信号発生器とEMIテストレシーバをGPIBケーブルで接続する
- SG側のモデルとGPIBアドレスを確認する
- EMIテストレシーバをスペクトラムアナライザモードにし、Start/Stop周波数やSweep point、横軸をSPANキーからLinearかLog表記にするか決定する。
- Input/OutputキーからTracking Generatorの設定を行う
- Normalization用のケーブルでSource Calを行う
- 測定用のケーブルを接続し、ケーブルロスを測定する
- 測定データをSave as Trd factorで本体内部に保存または ASCII Trace Exportでテキストデータ
を出力する



外部SGコントロール時の接続方法 (要R&S ESR-B10, R&S ESW-B10)

GPIBのケーブルで接続

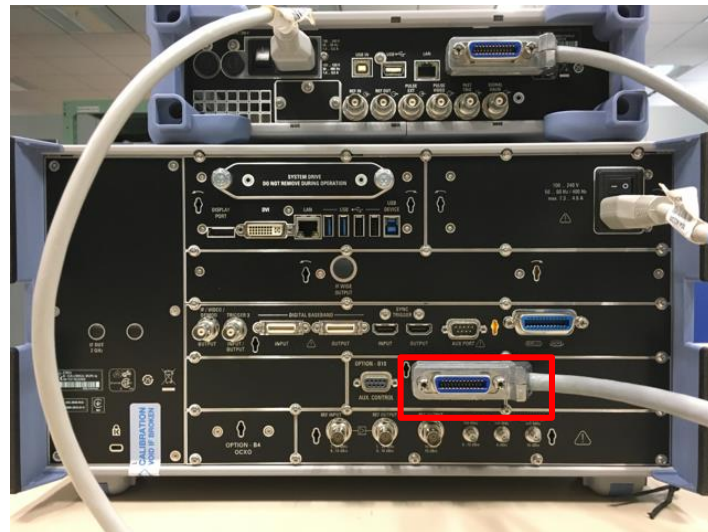
R&S SMB100A



R&S ESR/ESRP



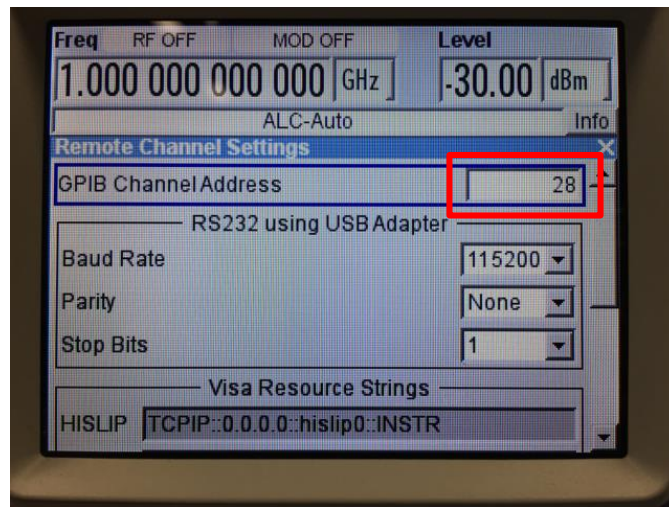
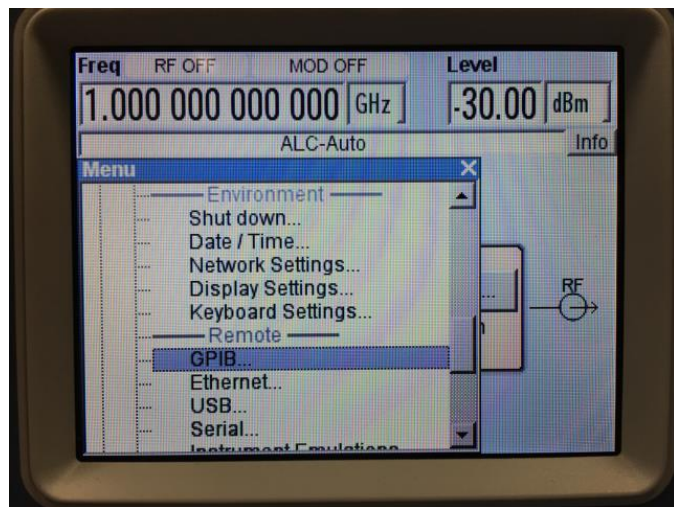
リファレンスを同期



R&S ESW

信号発生器のGPIBアドレスの確認 R&S SMB100Aの場合

SETUP > GPIB と操作し、GPIBアドレスを確認します。

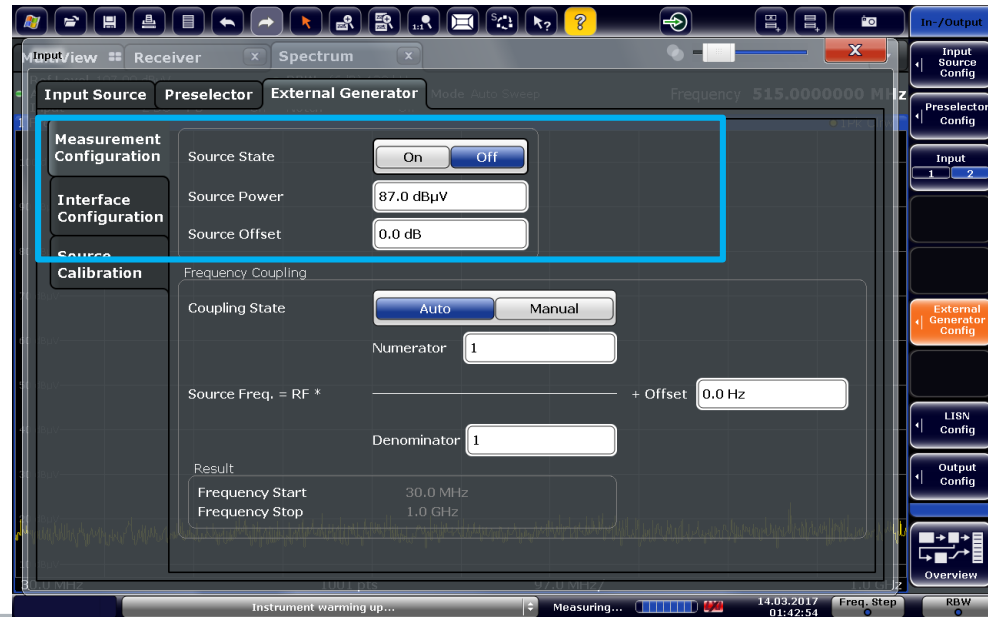
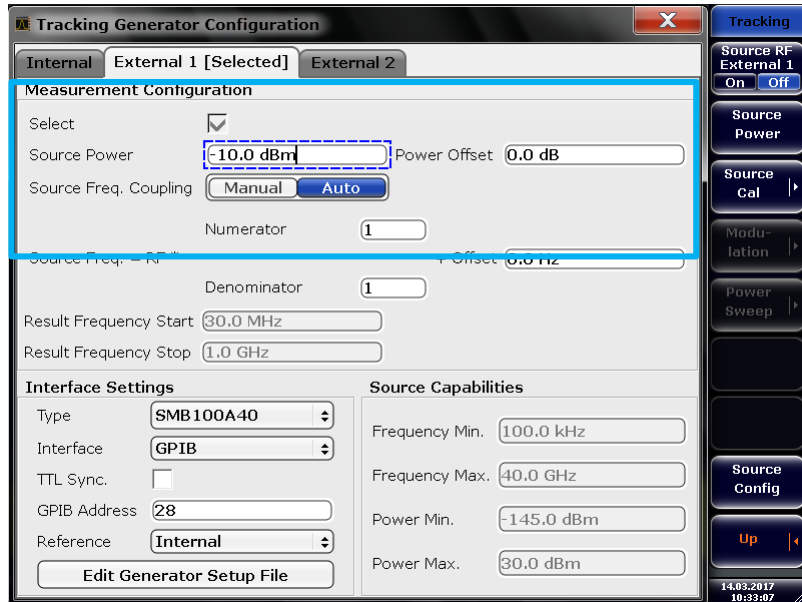


トラッキングジェネレータの設定1

SGのレベル設定

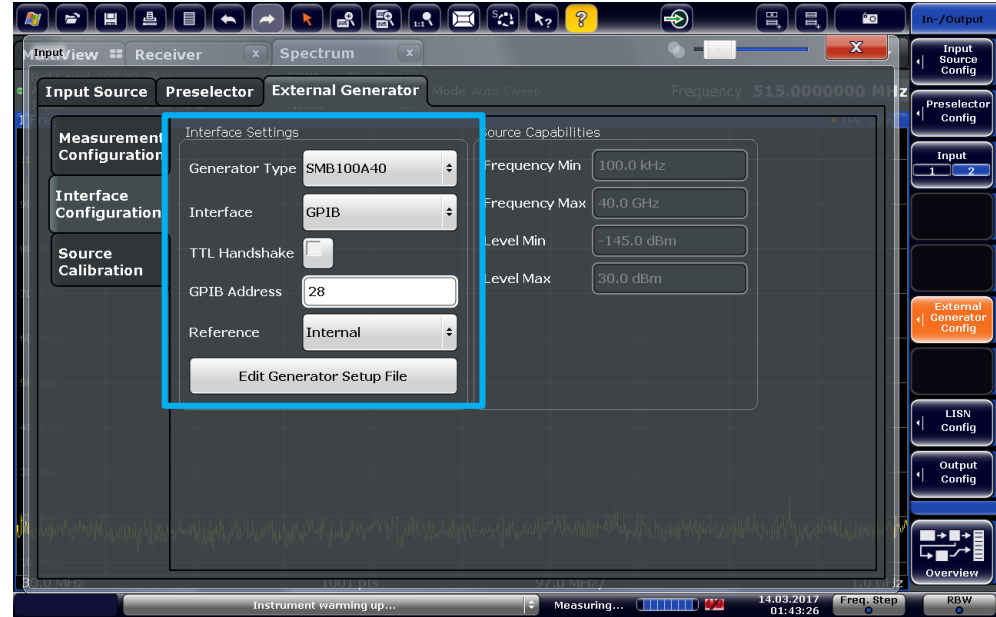
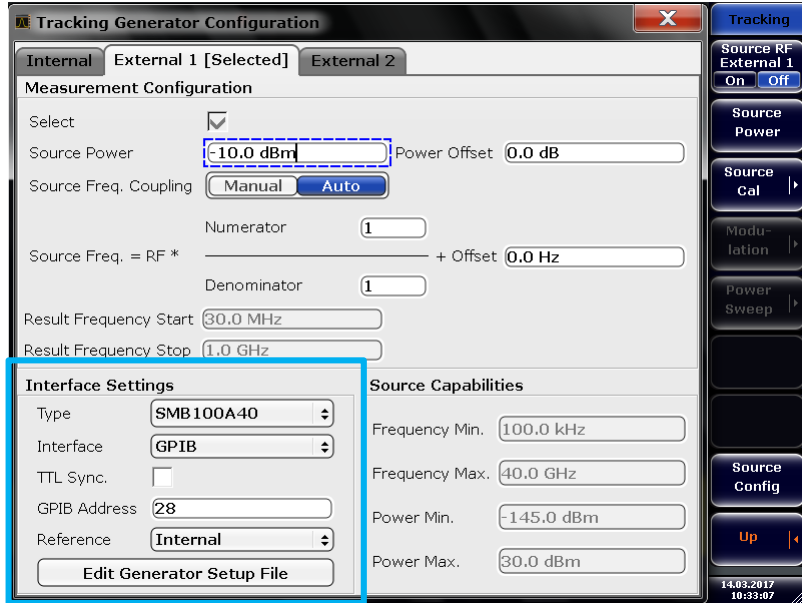
Input/Output > Tracking Generator

※ Internalは内部信号源を使用する場合、Externalは外部SGを使用する場合



トラッキングジェネレータの設定2

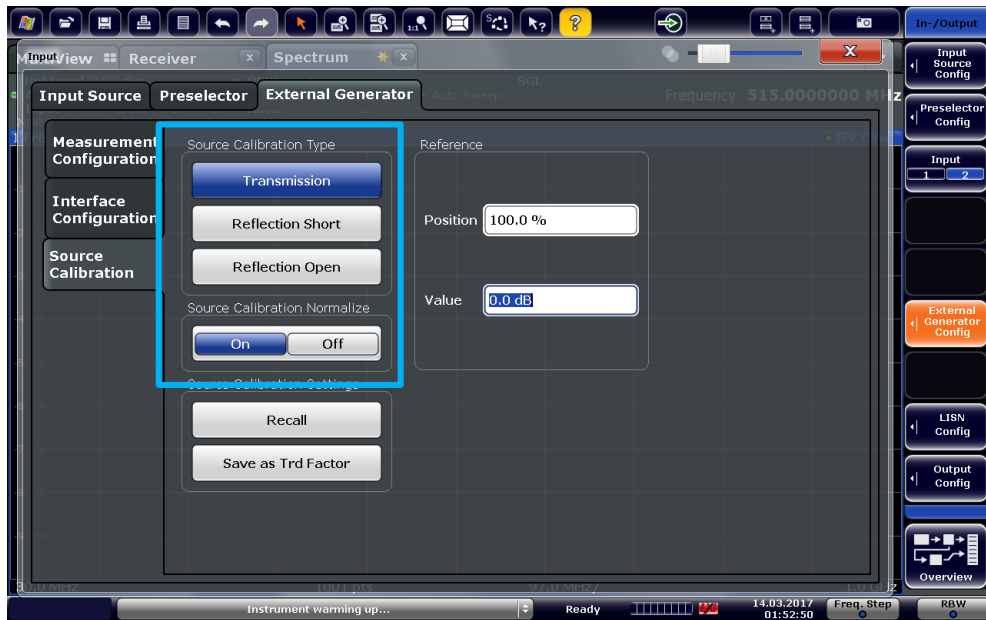
SGの選択と制御



トラッキングジェネレータの設定3

CalとNormalize

Calibrate Transmissionもしくは Calibrate Reflection Short/Openを選択し、Normalizeを行います。
Save as Trd factorで、トランスデューサファクタとして保存ができます。



トラッキングジェネレータの設定4

トレースデータの出力

R&S ESRのトレース出力操作

TRACE > More > ASCII Trace Export



R&S ESWのトレース出力操作

TRACE > Trace Config > Trace /Data Export

